

IMF-JC第43回労働リーダーシップコース

時間割(案): 2011年10月5日現在

※変更になる場合もあります

1月		朝	午前	午後	晩		
		7:30 -8:15	9:30-12:30	14:00-17:00	19:00-21:00		
11	水	—	開校式 10:00-11:00 ・式辞 ・祝辞 ・受講生宣誓	開校講演 11:10-12:10 西原/JC議長 「これからの労働運動とリーダー像」	オリエンテーション 13:00-15:00 ・日程 ・運営方法 ・注意事項	グループ形成 15:30-17:00	夕食交流会 18:00-19:00 全体ミーティング 19:00-20:00 実行委員会 20:00-21:00
12	木	英会話	ゼミナール① 香川・石田・中田・富田・上田各講師 自己紹介及び各人の課題とその背景の共有化。	戦後の労働運動と労使関係の変遷 鈴木/JC顧問 戦後労働運動の歩んできた道のりと労使関係を切り口に分析、企業別組合の生い立ちからJC春闘の変遷、そして労働戦線統一の歴史を振り返ると共に、今後の労働運動の展望について語る。	ファンタジー・グループ 日高/神戸学院大学教授 非言語グループフィンガーペインティングなどを通じ、こころ・からだ・コミュニケーションを体験学習する。		
13	金	英会話	国際労働運動論 小島/JC顧問 ①国際労働運動の歴史について、労働運動発祥の時代から現代に到るまでの流れについて、わかりやすく解説。②国際労働運動の意義を認識し、現状の課題を分析し、将来展望を考察する。	組合戦略づくり 神田/明治学院大学教授 13:30-17:30 労働組合の戦略づくりのノウハウを学び、戦略の基本を企業事例も含めて理解し、労働組合の戦略づくりについて理解を深める。また、実践的に組合の戦略策定と実行のためのシナリオを検討する。	—		
14	土	—	労使関係論 石田/同志社大学教授 仕事論を通して労使関係の物の見方、考え方について述べると共に、報酬制度の国際比較を通して今後の報酬制度の改革について考察する。	—	—		
15	日	—	—	—	—		
16	月	—	ゼミナール② 香川・石田・中田・富田・上田各講師 各人の課題とその背景の共有化を更に深める	労働経済論 中田/同志社大学大学院教授 「日本の賃金」の現状と課題について、国際比較など様々な視点から検討を加え、今後の日本の賃金のあり方と賃金制度改革について考察	地域福祉論 早川/総合人間研究所 所長 超高齢化社会における地域に根をはった生き生きとした生き方について考察する。		

IMF-JC第43回労働リーダーシップコース

17	火	—	<p>労働法 香川／大阪女学院大学教授 8:45-11:45</p> <p>労働契約法を中心に、雇用就労形態への多様化、個別紛争の解決手続とからめて雇用関係法の領域について、労働組合の役割も含めて考察する。</p>	<p>鞍馬山散策 「鞍馬山の自然に学ぶ」</p>		
18	水	英会話	<p>国際協力論 平田／アジアボランティアセンター代表 「国際化と国際協力」についてグローバル化とNGOのネットワーク、労働組合に求められる社会貢献活動について考察する。</p>	<p>ゼミナール③ 香川・石田・中田・富田・上田各講師 解決案の探索：各人が考えた解決案を発表しあい、その実現性、説得性を高めていく。</p>	交流会	
19	木	—	<p>持続可能な地域社会 植田／京都大学大学院教授 人類の存続そのものすら危惧される地球環境問題に我々は今、直面している。そういう中で、どうすれば、持続可能な地域社会を構築できるのかを考察する。</p>	<p>男女共同参画の職場と社会づくり 三輪／世界人権問題研究センター 男女とも人間として生き生きと働き、生活していけるような男女共同参画社会や職場をつくるために必要な仕組み・制度づくりと、それを運用する際の意識改革などについて、グループワークを通じて学び合う。</p>	<p>討論会 指導：石田教授 職場の課題の経験交流。テーマ別の出店方式による討論。</p>	
20	金	英会話	<p>労働組合のための財務分析入門 石井／高千穂大学教授 9:30-12:00 企業の財務分析を学ぶとともに、労使交渉を行う際に必要な実践的ノウハウを、事例を通して研鑽する。</p>	<p>日本型コーポレート・ガバナンスを目指して 大平／明治学院大学教授 13:00-15:30 日本企業を取り巻く本質的な側面を検討し、労働組合のガバナンス機能について考察する。</p>	<p>金属労協の運動課題 若松/JC事務局長 16:00-17:30 金属労協の果たすべき役割とその必要性について考察する。</p>	—
21	土	—	<p>特別講演 「経営と人間」 矢野／中日本高速道路顧問 10:00-12:00 経営者としての経営哲学、経営理念、経営観、労使関係などについて懇談的に話を聞く。</p>		—	
22	日	—	—	—	—	
23	月	—	<p>ゼミナール④ 香川・石田・中田・富田・上田各講師 解決案の発表とまとめ：各人がまとめた自分の解決案のレポートを発表しあい、指導教授の下、相互に批判・討議した後、ゼミナール全体の意見・討議の特徴をまとめ、集約する。</p>	<p>日本経済論 篠原／同志社大学教授 様々なデータをもとに、諸外国の経済を分析するとともに、日本経済の展望について、景気回復の構造的背景をはじめ、所得格差など格差問題にも言及しながら考察する。</p>	—	

IMF-JC第4 3回労働リーダーシップコース

24	火	英会話	<p>戦後世界経済を振り返る 猪木/国際日本文化研究センター所長 戦後世界経済の流れを、「市場の役割と限界」、「公私の概念」、「自由と平等のアポリア」などの切り口で振り返ると共に、今後の世界経済の座標軸となるべき考え方について考察する。</p>	<p>現代科学技術の課題 政池/京都大学名誉教授 現代科学技術のもたらす問題を分析し、科学技術の発展と真の意味での人類の幸福との関係を考察する。</p>	
25	水	英会話	<p>深層心理学 樋口/同志社大学名誉教授 職場における人間関係（上司・部下間、同僚間、社員男女間など）の中で、労働組合リーダーとして心得ておくべき、カウンセリングの基礎的知識を学ぶ。</p>	<p>日本変革の時代と労組 中條/同志社大学名誉教授 グローバル化混迷の中、日本再生改革のヴィジョンを考察するとともに、可及的具体的にその中の大事な諸問題を取り上げ問題提起する。</p>	—
26	木	英会話	<p>哲学 シュベ^ペネマン/同志社大学名誉教授 「人間を定義できるのか」を副題とし、現代社会における人間として生きるための基礎として、「人間と社会」「人間と自然」「生命倫理」「環境倫理」などについて考察する。</p>	<p>統計学 浦坂/同志社大学教授 13:30-17:30 調査データの「中心的傾向」と「散らばり具合」の指標となる記述統計量を取り上げた後、二つのデータの間を、相関係数から初歩的な回帰分析に至るまで、実習を通じて学ぶ。</p>	—
27	金	—	<p>ゼミナールまとめ① ゼミに分かれ個人レポートを発表しあう。</p>	<p>ゼミナールまとめ② 各ゼミナールまとめの全体発表を行なう。</p>	打ち上げ
28	土		<p><small>たびだち</small> 出発の集い～閉校式 08:45- 出発の集い 10:30- 閉校式</p>	<p>昼食(立食パーティー)～解散 11:30-13:00頃</p>	